



おかげさまで 開院 45 年を迎える ことができました



安全・確実に手術が遂行できるよう全力を尽くしています

後列	さとう まさひで 佐藤 雅栄 先生	みうら いちろう 三浦 一朗 先生	あきもと たかし 種元 崇 先生 (非常勤医師)	おおしも ともゆき 大下 智行 さん	おがさわら かずと 小笠原 和人 先生
前列	ぬまやま ゆうこ 沼山 有子 さん	おおみなと 大湊 さおりさん	おおかわ みゆき 大川 美幸 さん	もりやま しずえ 森山 静江 さん	おがさわら なおこ 小笠原奈緒子先生

南部病院 平成 30 年 11 月 1 日
開院 45 周年

医師紹介

まさひで
外科 佐藤 雅栄 先生
(副院長)

糖尿病を放置しない ほか

Anniversary

45th

1973 ~ 2018 年

地域の皆様に支えられたおかげです

南部病院 平成30年11月1日 開院45周年を迎えました



振り返ってみますと、あっという間の45年でした。小笠原外科胃腸科医院という個人医院からスタートしましたが、その後、医療法人博進会南部病院、現在では社会医療法人となり、個人のものではなく皆さんと共に運営する病院となりました。それは過疎化が進むこの地域を守るためです。これからも、50年、60年と地域医療を支える南部病院であってほしいと思います。



小笠原博会長

南部病院45年という長い歴史の中で、私はただか10年ほどしか在籍しておりません。45年を語るには、まだまだ力不足ですが、物心ついたときから南部病院があり、ともに育ってきたという思いがあります。45年という道のりは、すさまじく困難だったと思います。当時と現在一緒に働いている職員の皆さん、地域の皆さん、ご来賓の皆さん、多くの方々に支えていただいたおかげです。心から感謝申し上げます。これまでの45年に恥じないような、これから作っていききたいと思います。



小笠原和人理事長

南部病院45周年、スワンクリニックの開院を迎えるこのおめでたい席に、古くからいる職員としてとても感慨深いものがあります。病院とクリニック、力を合わせまして、より一層地域の健康を担っていければと思います。



小原正和院長



NANBU 和太鼓「まつり」



病棟の看護補助の皆さん



会場は大盛り上がり



未来へつなぐ想いを込めて
紙飛行機を飛ばしました



医師紹介

外科・内科・麻酔科

佐藤 ^{まさひで} 雅栄 先生（副院長）

- 医学博士
- 日本外科学会認定外科専門医
- マンモグラフィー認定読影医
- 麻酔科標榜医



対象疾患・診療内容・専門分野

外傷やできものに対する一般的な外科的治療、高血圧症、糖尿病、脂質異常症などの一般的な内科的疾患の他、甲状腺外来など専門的な検査・治療を行っております。また、睡眠時無呼吸症候群の検査・治療や頸動脈エコーを利用した動脈硬化の検査、スギ花粉症やダニアレルギーに対する舌下免疫療法も行っております。

外科・内科・胃腸内科の診療について

より正確な診断を行うためにも、血液検査や心電図、超音波検査（エコー）など検査が重要となります。

検査は定期的に行うことが望ましく、一度行った検査でも、その後の症状や薬の内容によって、複数回検査を行う場合がございます。

また、ご自身の自覚症状や既往歴などが診断に重要な情報となりますので、問診票の内容は出来る限り詳しくお聞かせ願えればと思います。

問診票の記入が困難な場合には、スタッフが記入いたしますので、ご遠慮なくお声がけ下さい。

糖尿病を放置しない

「糖尿病」とは、食べたものから分解されてできるブドウ糖がたまってしまう病気です。糖尿病の患者数は年々増加し、厚生労働省が実施した2012年の調査によると、全国の糖尿病患者数は950万人、現在は1千万人超と推定されています。

青森県は…

厚生労働省「2016年人口動態統計月報年報」によると、糖尿病関連の死亡率が、青森県は3年連続で全国最下位。それだけ放置して糖尿病が悪化してから治療を開始する人が多いという事です。全国1位の愛知県は、地域ぐるみで糖尿病対策に力を入れています。

- 健康診査の受診率を上げ糖尿病を早期発見する
- 糖尿病の怖さを県民に広く認知してもらう
- 食事を改善してもらう
- 体を動かすことの大切さを認知してもらう 等

糖尿病合併症

糖尿病を患うとなぜ死亡率が高くなるのでしょうか。糖尿病合併症は避けて通れない話です。糖が急に高くなると、意識を失って倒れてしまい、放っておけば死んでしまう。このような急性期のものもあれば、慢性期のものもいろいろとあります。

- (1) 腎 症 腎不全で人工透析を行っている人のほとんどは、糖尿病腎症である。
- (2) 網膜症 年間3,500人の患者さんが糖尿病網膜症で失明している。
- (3) 神経障害 足の血管が悪くなると、足を切らなければ命を保てない場合がある。足を切れば治る訳ではなく、足を切った人の予後はかなり悪い。
- (4) 認知症 糖尿病があるとリスクが高くなるといわれている。
- (5) が ん 糖尿病の患者さんは癌の発生率が高い。糖尿病が悪くなる回路と癌ができる回路に、共通の回路があると研究されている。

糖尿病はこのような合併症が元で、命を落とすことが多いといわれています。糖尿病の早期発見と、放置して悪化させないためにも、健康診断を受けたり、医療機関を受診したりするなど、日頃からご自身やご家族の健康状態に気をつけてみてはいかがでしょうか。



第60回 全日本病院学会in東京

テーマ「成熟社会における医・食・住」

会期 2018年10月6日(土)・7日(日)
会場 グランドニッコー東京

記 桑原

第60回全日本病院学会が東京 台場で開催されました。
参加者は **3,200名**を超え、障がい者スポーツと医療との係わりを考える企画をはじめ、地域医療構想や医師の働き方改革に関するシンポジウムなど多彩なセッションが行われました。



会場前にて

1

演題名 「チームビルディングが創る安全～多職種KYTから転倒防止への試み～」

主任作業療法士 桑原 久美子



医療の現場で発生する医療事故の一つである「転倒事故」に着目し、どこで、どの時期で、どんな転倒が多いか分析しました。

当院に合った対策を導き出す手段として、チームビルディング研修と多職種参加の危険予知トレーニング(KYT)を行い、患者の移動時の介助の状況が見てわかる表示をするという対策に繋がった取り組みを紹介しました。

感想 今回初めて学会で発表する側で参加させて頂きましたが、発表に至るまで皆さんから温かい言葉をかけて頂いたり、早く学会資料作成の協力をして頂いたりと当院の職員の協力体制にとっても感謝しています。

会場の雰囲気にも初めは緊張と不安でいっぱいでしたが当日は、同行した“応援隊”に勇気づけられ比較的落ち着いて発表することが出来ました。

今回、貴重な経験をさせて頂いたので、この経験を日々の業務に活かしたいと思います。

2

演題名 「入院時支援加算算定に向けての取り組み」

主任外来看護師 大下 智行



平成30年度の診療報酬改正において新設された「入院時支援加算」の算定に向けての取り組みを紹介しました。

外来から担当看護師を専任し、患者の情報収集とスクリーニング、療養支援計画の立案方法を検討しましたが、進めていくうちに様々な問題が発生。情報収集の内容や手順の見直しを行った結果を報告しました。

感想 今回、発表の機会を与えていただき、とてもいい経験になりました。病院での講演会のおかげで当日は、あまり緊張せず発表することが出来ました。

平成 30 年度

子ども職場参観日

記 角沢

青森県では、子どもの達に周囲の大人の働く姿を見せる「こども職場参観日」をすすめています。この企画は社会的・職業的自立に向け、家庭や身近な地域で、子どもたちが「働くことや生きること」について考える機会をつくっていくものです。

今年度は8月に実施し、小・中学生38名が当院を訪れ、職場参観や仕事体験をしました。

【内容】・病院見学、体験学習

(薬剤科での調剤体験、検査科見学・スライム作り、患者体験、手術室体験、野菜について・食育カルタなど)



看護部

包帯巻き体験



検査科

検査科は器械がたくさん



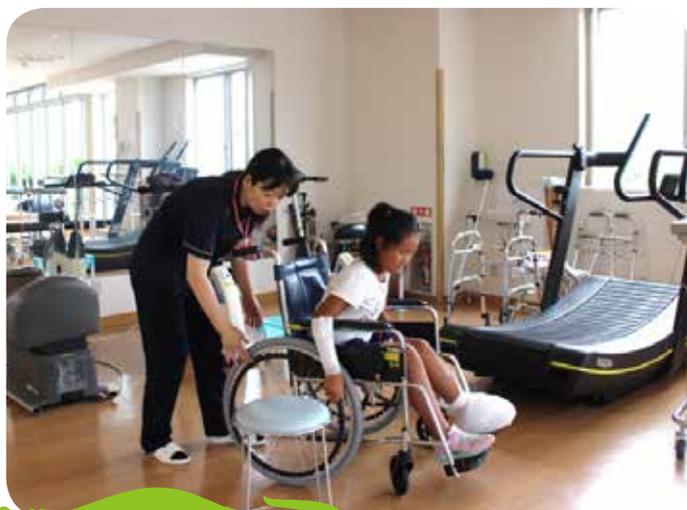
栄養科

野菜当てゲーム



薬剤科

調剤体験 お薬を計ります



リハビリテーション科

車椅子体験 Uターンが難しい



放射線科

CT検査



鶏肉を使っの電気メス体験

手術体験

無菌状態を保ちながら手術着を着たり手袋をつけるのは意外と難しい



子ども参観日を通して、大人の働く姿や地域の仕事への理解と大切さを感じてもらえればと思います。将来の夢や仕事について考える機会になれば幸いです。また来年もぜひ来て下さいね。

三戸消防署様との救急研修会

記 櫛桁

救急の日にちなみ、今年も三戸消防署様と合同で研修会を行いました。

緊急時の患者様の搬送方法・毛布と棒での担架の作り方を教えて頂きました。



心肺蘇生法の実施方法（胸椎圧迫・AEDの使い方）を教えて頂き、参加者全員でやってみました。



職員 ボーリング大会を行いました

記 新井田

職員同士の親善と健康増進を目的として、ボーリング大会を行いました。開会式で行われた始球式には、放射線科の番澤次長が投球しましたが、これが見事ストライク！！開会に花を添えてスタートです。

日頃の運動不足を解消し、
楽しくプレイしましょう！！
互助会 会長 吉岡



始球式でストライクを出しました！
ゲームも好成績でした！番澤



大会では2ゲームに渡り42名の参加者が、時にストライクを取って喜び、時にガーターを出して悔しがったりしながら、思い思いにボーリングを楽しみました。



フォームが決まっている小原院長



出ました！！ストライク！！

個人の優勝は梅舘陽子さん、金澤優希さんの二人でした。「来年のまたやりたい」との声もあり、盛り上がったイベントとなりました。



豪華景品いただきました！



平成30年12月1日(土)

小児科 12月3日(月)

スワンクリニック オープン



12月より診療体制が変わります。ご不明な点などございましたら、お気軽にスタッフまでお声をかけてくださいますようお願いいたします。
診療時間および担当医表は、受付に置いておりますのでご自由にお持ち帰りください。



スワンクリニック 診療時間のご案内

		月	火	水	木	金	土
午前 8:30 ~ 11:00	整形外科	○	○	○	休診	○	○
	外科	○	○	○		○	○
	小児科	○	休診	○		○	休診
午後 14:00 ~ 17:00	整形外科	○小笠原	○三浦	休診		休診	休診
	外科	休診	14:00 ~ 15:30	○		休診	
	小児科	休診	休診	休診		○	
	内科	○三上	休診	休診		○三上	

※小児科：月・水曜日午前中、金曜日1日 ☎ 0179-23-0805 (12/1より)